

個人質問

議会事務局
処理欄

令和6年5月13日 15時12分 受付

質問順位 第8番

武豊町議会議長 青木 信哉 殿

武豊町議会議員 鳥居 美和

一般質問の通告について

令和6年第2回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
<p>1 子どもをネット犯罪から守るアプリの活用について。</p>	<p>【趣旨説明】 この10年でスマートフォンの世帯保有率は、9.7%から88.6%と著しく増加しました。この保有率の高さは子ども社会にとっても例外ではなく、内閣府の調査によると昨年3月の発表では子どもが自分専用のスマートフォンを利用している割合は、小学生が64.0%、中学生が91.0%、高校生が98.9%でした。同調査によると「インターネット配信をしたことがあるか」を聞いた結果、小学生は17.9%、中学生は20.3%、となり高校生になると27.9%という結果でした。 このように、子どもにとって身近なスマートフォンでの写真・動画撮影とSNS投稿ですが、保護者も子どもと一緒に様々な危険性があることを理解する必要があります。近年では、学校配布の学習用タブレット端末による自撮りや盗撮による問題も全国的に見受けられます。 愛知県警によりますと、SNSなどを通じて子どもたちに裸や下着姿などを「自撮り」させる手口が全国的に広がり、愛知県内でも中高生などを中心に被害が確認されているということです。 こうした子どもによる性的な自撮りに関する被害が増える中、令和3年秋、愛知県警が被害を防止する策について起業家を育成するプロジェクト団体に相談をしました。参画されていた藤田医科大学が名乗りを上げ、産官学の連携のもとAI=人口知能を利用して被害を防止するアプリが開発されました。このアプリは子どもを守るという意味から「コドマモ」と名付けられています。「コドマモ」は、子どもが自分のスマートフォンで裸や下着姿などのわいせつな画像を撮影・保存した際、AIが撮影データを判別し、画像を削除するよう促す通知が表示されるとともに、保護者にも通知されるというシステムです。昨年3月には国連のイベントでも社会課題を解決するアプリとして紹介されました。 一昨年の愛知県内での児童ポルノ事犯などの被害者の4割は中学生だったことから昨年7月、全国で最も平均年齢の若い長久手市の中学生を対象に、この「コドマモ」アプリを使い、実証実験が行われました。長久手市の3つの市立中学校に対して愛知県警は市と協働で7月10日から3か月間、市内の中学生およそ2,000人を対象に「コドマモ」の利用を勧め、アプリの有効性や親子関係の変化などの効果について検証が行われました。「コドマモ」アプリに期待される効果としては、犯罪を減らす抑止力になること、学校内外での性的な自撮りや盗撮を防ぐことなどがあります。昨年7月「令和5年度第1回愛知県青少年保護育成審議会」においても「コドマモ」アプリについて触れられ、啓発していきたいとのことでした。愛知県警より、愛知県教育委員会を通じて紹介依頼もあったようで、県内の学校によっては公式ウェブサイトなどで周知を図られているところもあります。 子どもが心豊かに健やかに育つためにも犯罪に巻き込まれる危険性を遠ざけ、トラブルを未然に防ぐ手立てを講じることは重要であると考え、3点の質問をさせていただきます。</p>

	<p>【質問事項】</p> <p>① SNS などのネットを通じた性犯罪から児童・生徒を守るためにどのような対応をされていますか。</p> <p>② 本町においても子どもを守るため愛知県警などが開発したアプリ「コドマモ」の周知・啓発を行ってはどうかと考えるがいかがですか。</p> <p>③ 子どもを被害者にも加害者にもさせないために学校配布の学習用タブレット上端末に「コドマモ」アプリをインストールしてはどうかと考えますがいかがですか。</p>
<p>2. 災害時の備蓄品について</p>	<p>【趣旨説明】</p> <p>今年の元旦に発生した能登半島地震は犠牲者 245 人、負傷者は 1,309 人にもものぼりました。お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、負傷された方、被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。地震後に亡くなった方のうち少なくとも 100 人の遺族が災害関連死の認定を石川県内の自治体に申請されています。相談も多く寄せられており石川県内の最終的な申請数は、100 人からさらに増えると思われます。災害関連死とは避難生活や環境変化のストレスから体調が悪化して亡くなり、災害が原因と認められるものです。</p> <p>内閣府が 5 月 8 日に発表した能登半島地震における避難所運営の状況は、石川県輪島市では約 1,170 戸、珠洲市では約 3,110 戸が断水中です。高齢者施設では 148 施設中 70 施設が断水。障がい者関係施設では 28 施設が断水。七尾市の救護施設 1 施設が断水と震災から 4 ヶ月以上経過しても未だ大変な状況です。</p> <p>3 月 26 日に能登半島に本町から応援に行かれた派遣職員の方々の報告会に参加しました。過酷な避難生活に加え断水の地域の話の伺い女性や子ども、障がいをお持ちの方に思いをはせました。</p> <p>まず、人工肛門などを腹部に設けて生活されている方、オストメイトを巡る災害時の備えが課題になっています。避難所では予備の装具や対応したトイレの準備が不十分なため、排泄処理に困る事態が起きています。ましてや断水では装具を洗ったり交換が難しいです。皮膚の洗浄も必要なオストメイトの方々は避難所での生活をどうしたらいいのでしょうか。</p> <p>次に、私も 2019 年 9 月の定例会において質問しました「液体ミルクの備蓄について」です。この度の能登半島地震における避難所での備蓄品の液体ミルクの状況を調べてみたところ、被災地からの要望を受けてメーカー各社が避難所などにおよそ 3 万本の液体ミルクを提供しているそうです。メーカーのもとには、被災した方から「水が止まっても使えて重宝している。」といった声が寄せられていると言います。また今回の地震を受けて被災地以外でも、自宅などに液体ミルクを備蓄しておきたいというニーズが高まっているようです。昨年 6 月から 7 月にかけて、メーカーなどが全国 1,741 の自治体を対象に行った調査によると半数近い 47.5%の自治体が「自ら購入して液体ミルクを備蓄している」と回答しました。被災した際に、粉ミルクを与えようと考え、赤ちゃんに飲ませる前に哺乳瓶を消毒し計量した粉ミルクをお湯で溶かして人肌まで冷ます、といった作業が必要ですが断水などが続く被災地では大変難しいのが実情です。</p> <p>そこで本町における災害時の備蓄品について 4 点質問させていただきます。</p>

【質問事項】

- ① 近隣市町では、液体ミルクを備蓄品に導入しています。本町でも液体ミルクを災害時の備蓄品に入れる考えはありますか。
- ② 人工肛門、人工膀胱などを利用しているオストメイトの方々の災害時のトイレはどのようにお考えですか。
- ③ オストメイトの方々のパウチなどの装具を災害時の備蓄品に入れる考えはありますか。
- ④ 知多市ではオストメイトの方々自身が利用するストマ用装具を市で預り保健センターで保管しておき、災害時に利用者の求めに応じて保管してある装具をお渡しする支援を行っています。本町でも行う考えはありますか。